

また、議員には111億円余りの予算の監視のために独立した権限が与えられている。この定数減は、その機関を弱めていくので、住民にはデメリットだと思うが、どうしてメリットになるのか。

また、人口面で見ると、旧大方地域は10年前に比して議員は約33%減なのに、有権者数は約0・9%減で1割も満たない。人口の減り具合も同様と思う。

その後、人口減少の中で議員をどんどん減らした場合、議会の役割、議員の役割の点も聞きたい。

A 山崎 正男議員

住民自治に関する考え方の根底は同じだ。住民の声をより多く考えていくには、人数が多いほどいいと思うが、多いから少ないからの問題ではないと思う。

その近隣市町村の考え方、この人口減を踏まえると、同じ定数のままでは、おかしなものになると思っている。や



吉田町役場会議室にて(H24年10月)

はり人口が減少するならば、それに合った定数を考えないといけない。

定数は、各市町村の自治体や議会の考え方で決まるのだが、社会の動向が厳しくなっているときに、議員だけがのほほんと16人でいていいのかということが根底にある。

Q 明神 照男議員

議員には、住民の代弁者としての位置づけがある。

現在、地方分権とか地方創生といった事業が国から出てきている。また、国に対して地方がどうあるべきかとの問題も目前にあるのに、定数を

減して、その問題に取り組みるかと思う。

今、他町村が減すならば、当町は増やし、その代わり、報酬を下げるとか日当制にするとかの方法もあるのではないのか。

A 山崎 正男議員

国の情勢により、様々な仕事が増えたり減ったりで厳しい問題もあるが、2人減だから対応できなくなるとの考えはない。

それから、報酬、日当制については、現時点では考えていない。

Q 宮川 徳光議員

理由の一番が住民の要望は重いとのことだったが、それは個人的な思いであって、現時点での住民の意思表示があったとは受け取れない。何が根拠か。

定数を出す場合は、人口だけでなく面積、地域の特性、また、合併の有無などを現状

の16人と比較し、最終的な目的、住民福祉なりにより良いという提案でないと、判断材料が乏しいと思う。執行部からこういう順序立てて検討して人数を出すという大事な所が抜けている提案が出てきたら、議員は皆が反対すると思えるが。

A 山崎 正男議員

住民の意思表示は、4年前の住民請求で既に決まっている。住民はいまだにその意見、気持ちを持っていると思う。

今提案は、まず定数を決めてからというものだ。14人を先に決める理由は、近隣の状

況、それから人口減だ。

目的は、我々議会の職責は法によって定められ、それに基つきやっている。人数が2人減ろうが2人増えろうが、何ら問題はないのではと思われる。

また、各市町村の面積、人数、特性とかまでを比較すると、その人数を確定するのが難しいのではと思っている。

で、各市町村の定数は、面積も人口も踏まえた議論をして決めた結果なので、我々もそれらを踏まえて考えたらいいと単純にそう思う。



淡路市の北淡震災記念公園にて
(上と右 H24年10月)